

日朝ピョンヤン宣言 14 周年

# 東アジアの平和実現 9・17 集会

呼 び か け

## 東アジアの緊張高めるサード韓国配備決定の衝撃

米韓両政府は、来年にも新型の高高度ミサイル防衛システム(THAAD、サード)を韓国に配備することを正式決定しました。「ミサイル防衛」というと“防御的”兵器に聞こえますが、先制攻撃後、相手の報復攻撃からの「防衛」で、あくまで先制攻撃戦略が前提となるものです。

今回韓国に配備されようとしているサードは、朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)だけではなく中国、ロシアもターゲットにしています。サードの目の役割を果たすXバンドレーダーは1千km以上(最長4千km超)の目標探知能力を持ち、中国・ロシアもその範囲に入ります。しかも米軍Xバンドレーダーは、日本でも航空自衛隊車力分屯基地(青森県つがる市)、在日米軍経ヶ岬通信所(京都府京丹後市)など日本海側にすでに配備されており、サードの韓国配備とリンクしていくことになります。

現在、朝鮮だけではなく中・ロもこれに強く反対しており核軍拡を誘発しかねない危険なものです。

## 戦争法・憲法改悪に反対し日本の軍国化の道止めよう

一昨年の集団的自衛権行使容認の閣議決定、昨年の安保法制(戦争法)強行成立、そして7月参議院議員選挙で改憲勢力が3分の2を占めたことで、日本の軍国化への深刻な懸念が現実化しようとしています。

昨年、日本のこうした動きに対応して日米安保新ガイドラインも改定されました。それは「アジア太平洋地域とこれを越えた地域の安定に寄与」するとして、米軍が行う戦争に対して自衛隊の支援を世界規模に広げるものです。緊張の高まる朝鮮半島の「有事」に際して米韓軍とともに日本が参戦していく危険すらあります。

「戦争法廃止」「憲法改悪を許さない」の声を拡大することは“待ったなし”の課題となっています。

## 米朝平和協定締結求める国際世論を

昨年、米韓連合軍司令部はピョンヤン制圧を含む新たな対朝鮮先制攻撃戦略「作戦計画 5015」を策定し、今春の史上最大規模の米韓合同軍事演習から適用しています。8～9月には米韓合同演習「ウルチ・フリーダム・ガーディアン」も実施しています。これに対して、朝鮮側は自ら「自衛処置」とする1月の核実験をはじめ弾道ミサイルの発射実験で対抗しています。

日米韓の政府やマスコミは「北の挑発」のみを一方的に取り上げ、制裁論議を繰り返しています。(日本では「独自制裁」の名の下で在日朝鮮人へのいわれなき人権侵害が強まっています)。

しかし、朝鮮半島における軍事的緊張の根源こそ、朝鮮半島が63年にも及ぶ「撃ち方やめ」に過ぎない休戦状態のまま放置され続けていることです。休戦状態に終止符を打ち当事国である米朝が一刻も早く平和協定締結をするよう国際世論を起こしていくことが急務となっています。

日朝ピョンヤン宣言14周年に当たり、私たちは東アジアの平和の実現を求め9・17集会を開催します。ぜひ多くの皆様の参加・賛同を呼びかけます。

●実行委参加・賛同費 個人1000円／団体3000円

●郵便振替 00110-8-140618 [日韓民衆連帯全国ネットワーク]

\*「9・17 集会賛同」と明記してください

## 9・17ピョンヤン宣言14周年集会に賛同します

【 個人・団体 】

氏名(団体名)

肩書き

連絡先

電話

●一言メッセージ

氏名(団体名)公表【 可・否 】